



エドワード・ダイヴァース像



附属病院のレリーフ



- 1 広報センター(旧夜間診療所)
- 2 レオポルド・ミュレル像、
下山順一郎像
- 3 エルヴィン・ベルツ像、
ユリウス・スクリバ像
- 4 水原秋桜子句碑
- 5 ヒポクラテスの木
- 6 医学部博物館(平成20年度完成予定)
- 7 隈川宗雄像
- 8 解剖台(医学部本館東側ポーチ)
- 9 医学部本館
- 10 鉄門(相良知安先生記念碑・ベルツの庭石)
- 11 附属病院のレリーフ
- 12 青山胤通像、佐藤三吉像
- 13 御殿下記念館
- 14 理学部化学館
- 15 エドワード・ダイヴァース像

医薬の道

06

龍岡門から直進する道沿いには、医薬や物理の学問の偉人にかかわりの深い像や碑、建造物が多い。道の左側の広場には、ベルツやスクリバなど近代日本の医学の創始を支えた外国人教師の像が並び、附属病院の壁のレリーフを右手に見ながら、明治から現代までの建築が混在する研究棟群に至る。なかでも理学部化学館は、東大初のコンクリート造の建物である。またここは、御殿下記念館や運動場など、スポーツや健康にかかわりの深い施設も多い。